

事務事業名	放課後児童対策事業(直営)・(加茂)		所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
政策名	総合計画体系	(Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	子育て支援グループ	課長名	田中 孝治
施策名		(22)子育て支援の充実	担当者名	多根 英志	電話番号(内線)	0854-40-1044 3626
基本事業名		(064)子育て環境の充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業	放課後児童対策事業直営	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	仕事などで昼間保護者のいない小学校児童を対象とし、放課後に児童が安心して生活できるよう、預かり指導する事業。	昼間保護者のいない家庭からの児童預かりニーズを受け、児童福祉法及び放課後児童健全育成事業実施要綱に基づいて実施された。(平成10年5月開設)

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,100						
		県支出金	千円	50	2,622	2,510					
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	地方債	千円			20					
		その他	千円	1,964	2,444	2,315					
	トータルコスト(A)+(B)	一般財源	千円	906	564	1,093					
		事業費計(A)	千円	4,020	5,630	5,938	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)	正規職員従事人数	人	4	5	5					
		延べ業務時間	時間	338	700	700					
		人件費計(B)	千円	1,288	2,722	2,759	0	0			
			千円	5,308	8,352	8,697	0	0			

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	・利用対象児童を審査のうえ決定し、児童クラブで受入。 ・指導員連絡会の開催、指導員ローテーション表の作成・打合せ等	ア 審査件数	件	29	37	26	-		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ							
	※委託方式へ転換	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	仕事などで昼間保護者のいない小学校児童。原則1~3年生だが、定員に空きがあり必要であれば4~6年生の利用も可能。	⑥ 対象指標							
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 昼間保護者のいない小学生(地域)年間平均利用児童	人	29	37	26	-		
	屋間保護者のいない家庭の児童の安全確保と健全育成。保護者の仕事と家庭の両立支援。	イ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑦ 成果指標							
	子どもが心身ともに健やかに育つ。子どもを持つ保護者が安心して子育てができる。	ア 児童クラブ登録率	%	100	100	100	-		
		イ							
		ウ							
		⑧ 上位成果指標							
		ア 子育てしやすいと感じる市民の割合	%	40.5	51.1	61			
		イ 自分の子どもが心身ともに健全だと感じる保護者の割合(子ども:18歳以上)	%	88.5	89.9	90			

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
通年での利用人数は増加傾向にあり、特に長期休暇中の利用者は増えている。そのため、長期休暇中においては施設の規模や指導員配置基準等から受入困難な状況が生じている。保護者の就労形態等により、平成21年度は特に利用児童が多く、次年度においても同様の傾向が見られる。そのため児童クラブニーズが非常に高い地域である。	受入児童増加に伴う指導員数の増加配置。障害児受入における専門研修。受入児童増に伴うロッカー、調理器具等の備品整備	対象者は小学1~3年生の児童を基本としているが、4年生以上の児童についても保護者からのニーズがある。また、障害児の受け入れ態勢の整備(段差解消、手すり設置、専門指導員の配置等)も状況に応じ必要で。受入児童の増加に伴う、指導員及びスペースの確保。

事務事業名	放課後児童対策事業(直営)・(加茂)	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	--------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 児童の健全育成と、仕事と家庭の両立支援の推進が子育て家庭を支える社会の構築につながっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 児童福祉法第2条、第21条の8、第21条の9及び第21条の10の規定により市町村の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は、小学校1～3年生を原則としているが、受入の空きの範囲で4年生以上の受入も行っている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 今のところ待機児童はないが、施設が老朽化しており、児童の安全面確保等が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 昼間保護者のいない児童の安全確保と健全育成が不可能となり、仕事と家庭の両立が困難となる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 対象となる限られた児童が、家庭に近い生活ができるよう状況を独立して確保する必要がある。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助基準を確保するために削減できない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 業務委託の検討。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 利用児童は、事業対象要件の審査を行ったうえで決定しており、必要な受益者負担を求めている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	児童の健全育成と保護者の仕事と家庭の両立支援施策として必要不可欠となっている。利用児童数増加に伴い、指導員の確保も必要である。多様な児童への対応等に備え、関係機関との連携とともに指導員の更なる資質向上のため、研修等への参加の促進も必要。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
「雲南市事務事業外部委託の推進に関する指針」に基づき地域における子育て支援の推進を図るため、地域組織や民間団体の新規参入がしやすい状況の整備を図っていくこと																						